

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	(770) 6600
部 名	生涯学習部	課 名	橋本図書館		課長名	天野 元敬
事務事業名	図書等資料充実事業					
予算上の事務事業名	図書等資料充実経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施 策 名	第2施策 生涯学習活動の支援					平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	図書館法・市図書館条例・市図書館条例施行規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
市民の生涯学習を支援し、教養、調査研究、レクリエーションに資するため、図書館法に基づき、計画的に図書資料の収集、整理、保存を行い、市民の利用に供する。					市民(他に、在勤在学者、広域利用締結市町村住民等)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書購入冊数 22,169冊 (予算額 35,784千円 決算額 35,779千円 執行率 99.99%)</li> <li>・ 蔵書冊数 206,732冊</li> <li>・ 利用冊数 846,773冊</li> <li>・ 利用者数 349,869人</li> <li>・ 開館日数 291日</li> </ul>						
6 関連・類似事業や他市の状況						
	横須賀市(4館)	厚木市(1館)	大和市(1館)	藤沢市(4館)	町田市(6館)	
			蔵書冊数	677,035冊	616,924冊	
	352,103冊	1,132,203冊	916,000冊		貸出冊数	
	936,923冊	1,220,627冊	714,552冊	3,824,998冊	3,929,000冊	
7 事業費の推移	[単位: 千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	61,316	51,175	50,371	51,073	51,073	
一般財源	61,316	51,175	50,371	51,073	51,073	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	51,799	49,922	50,218	47,151	47,151	
事業コスト合計(a)	113,115	101,097	100,589	98,224	98,224	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	図書等資料充実事業			対象名称 (単位)	図書資料購入経費 (冊)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	113,115	101,097	100,589	98,224	98,224	
対象数	23,021	19,104	16,700	17,000	17,000	
単位あたり経費(円)	4,914	5,292	6,023	5,778	5,778	
前年度比		1.08	1.14	0.96	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	図書資料購入率		指標式と指標の説明	予算の執行率により把握 35,779/35,784*100=99.99%		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	図書資料貸出回転率		指標式と指標の説明	図書資料の年間貸出状況を把握し、図書資料の利用割合を把握する。846,773/206,732*100=410		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	554.0	545.0	410.0			
目標	0.0	0.0		410.0	410.0	
目標達成度						
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
有	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
既に業務の一部を、民間委託により実施済である。			限られた経費の中で、利用者要望に応えるための人材の育成と確保			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				